

# 外宮前に出店し、限定商品開発

## 食用バラ使ったバラ豆開発

徳永製菓 10月は8周年記念セール

1869(明治2)年に創業した老舗。豆菓子や野菜・果物チップスを製造・販売する徳永製菓(株)福山市胡町4-21、上迫 豊社長、電084・922・2710)は今夏、式年選宮に沸く三重県伊勢市の伊勢神宮外宮前に子会社として(株)伊勢豆徳(三重県伊勢市本町18-30)を開業した。写真上。同所地産品とコラボした新たな伊勢限定豆製品も、手始めに5品売り出している。

JR伊勢市駅および駅前から伊勢神宮外宮に続く参道が



近年再開発され、瓦ぶきの伝統的な長屋風土産物屋街ができた。その一角の約82㎡で既存の商品や、伊勢海老のパウダーを添加した「伊勢海老豆」やホワイトチョココートに真珠パウダーをまぶした「真珠豆」、カシユーナッツにクローラの粉をかけ金粉を散らした「勾玉豆」など、伊勢神宮や周辺の産物にまつわる新豆菓子と同所限定で販売している。営業は午前9時から午後5時までで、無休。年間売り上げ6千万円を目標にする。



また、全国的にも珍しい食用バラのブランド「福山薔薇人(バラード)」を展開するマチモト(株)(同市若田町下有地307、町本義孝社長)製バラのエッセンスを使った「薔薇豆」を発売した。写真下右、左は伊勢海老豆。ほのかなバラの香りが漂う豆菓子で、バラの花弁をティールバッグに入れたバラティールを1袋同封している。60g入りで定価は450円。

さらに10月は本社に隣接する「豆徳本店」の開店8周年を迎えることから、同月のみ特別に詰め合わせた奉仕品を販売する。

8周年記念特別詰め合わせ品は、10種類の豆菓子などが入った「こだわり豆菓子詰め合わせ」(500円)のほか、豆みっくす(70g3袋)や彩果とりどり(32g3袋)、人気の竹炭(テトラ10個)が入った「感謝詰合せ」(1050円)などを販売する。

上迫社長(47)の話「営業有利な大都市圏に出ることよりも、創業144年の老舗として歴史ある町で伝統と共に弊社の豆菓子を味わっていただきたかった。伊勢神宮外宮は豊受大神という食事と産業の神様。豊は自分の名前であり、豆という字も入っていることから、強いご縁を感じ、出店を決意しました。地域の産物とのコラボは

続けていきたい。また、10月はワインを使った豆菓子も考案中です」。

## 5・6日に第5回蔵祭り 浅野味噌

味噌盛り放題など7千人分 関連食品や格安商品も豊富



府中味噌の老舗・浅野味噌(株)府中市府中町830-1、浅野利夫社長、電0847・41・2032)は10月5・6日(土・日)午前10時～午後4時、同店駐車場を特設会場に第5回「蔵祭り」を開く。府中を代表する伝統産業のひとつ「味噌」を使った関連商品や格安商品も豊富

「味噌」を使った関連商品や格安商品を多数用意している。味噌とふれあう機会を増やすことで、食生活の変化などで落ち込んでいる需要を掘り起こそうという。

フリーズドライ味噌汁の「つかみ取り」や、カップに味噌をてんこ盛りできる「詰め放題」は参加費500円。盛り放題の味噌は完全無添加の中味噌で、1kg840円相当。盛り方しだいで2・5-3kgになる。写真。昨年の6500人を上回る7千人を目標に、6トン余りを用意する。

対象商品が2割引になる特典や味噌汁の無料サービス、特設屋台村では、ゆずみそーすと砂糖不使用のこめちよこを使ったソフトクリーム、味噌入り特製カレー、味噌ラーメン、焼きおにぎりなども販売する。また、ささみチーズカツや白味噌のクリームコロッケ、松茸ごはんなども登場。屋台内のスタンプラリーで抽選券を出す。駐車場は周辺に100台分程を確保しており、当日会場で要確認。

浅野社長の話「来場者はお陰さまで毎年漸増している。味噌にも様々な用途があり、使い方も次第で食卓が更に豊かになることとお伝えしたい。これを機に府中味噌を日頃の料理に使っていただければ幸いです」。